

持ち帰り可

令和7年度 山口県立大学 別科助産専攻

特別選抜 入学試験「小論文」問題

試験開始の指示があるまで、この中を見てはいけません。

注意事項

- 1 試験開始後に「問題」、「解答用紙」の印刷不鮮明、汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 2 解答はかならず「解答用紙」（白紙）に記入してください。「下書き用紙」（色紙）も配布しますが、間違って「下書き用紙」（色紙）に解答を記入しないようにしてください。
- 3 不正行為について
 - ① 不正行為については厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。
- 4 試験終了後、「問題」と「下書き用紙」は持ち帰ってください。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

看護にはいくつかの神話があります。「共感」という言葉はそのひとつでしょう。看護のなかで「共感」という言葉が語られるとき——それは看護師・患者関係を取り扱った文章には必ずといってよいほど登場するのですが——そこには何かとくべつな価値が込められているようです。

看護学生が初めて看護を体験する基礎実習に際しては、患者を共感的に理解することを目的として掲げている学校がほとんどではないでしょうか。そのため、学生は患者のいうことを「共感的に受け止めなくては」と躍起になっています。けれども、これほど頻繁に使われ、ほとんど看護のなかでは常套句と化しているにもかかわらず、その実体や意味するところは実にあいまいなのです。その結果でしょうか、たとえば、学生の記録には共感という言葉がこんなふうに出場することになります。

朝、挨拶にいくとAさんが機嫌よく「きのうお見舞いにきてくれた会社の同僚が『顔色がいい。ちっとも病気じゃないみたい』っていつてくれたのよ」とうれしそうに話してくださった。昨日の検査結果が前回より悪くなっていることに気が付いていないのかもしれない。心配だったが、Aさんが「このごろ気分もいいし、うれしいわ」というので、「そうですね」と共感しておいた。……

実は、Aさんは末期癌に冒されていて、しかも告知されてはいなかったのです。学生は「共感」という言葉を、相手のいうことをそのまま肯定するという意味で使っています。その先を見てみましょう。

Aさんは今日も「いつになったら退院できるかしら」と私(学生)に聞いてきた。私は何といてよいかわからず、黙ってAさんの話を傾聴することにした。……

ここでは「傾聴」という言葉が登場していますが、それは「言うべき言葉が見つからず、ただ黙って聞く」という意味で使われています。ほとんど前に出てきた「共感」と同じような意味あいです。

ほかに「受容」という言葉も、「傾聴」と同じく「共感」に置きかえることができます。この三つの言葉は、とにかくなんでも患者の言うことを無条件に受け入れること、自分の価値判断や感情、意見などはいっさい差しはさまず、反論もしないという意味で使われます。つまり、患者と看護師である自分が一致していることが「共感」や「受容」や「傾聴」の前提となっているのです。

(「感情と看護 人とのかかわりを職業とすることの意味」 武井麻子著 医学書院 pp. 86-87, 2001年より一部抜粋)

問い 看護で用いられる「共感」と「傾聴」の適切な意味を述べるとともに、本文中の学生がAさんに対して行った「共感」や「傾聴」について、あなたならどのように関わるかを、理由も含めて800字以内で述べよ。

〈この問題で見る視点〉

○AP 1 知識・技能

助産の基礎を学ぶために必要な看護学の知識と技術を身につけている。

○AP 2 思考力・判断力・表現力

看護職としての論理的思考・問題解決力・表現力を身につけている。

〈出題の意図〉

医療人として重要な能力である「共感」や「傾聴」について、その実態や意味するところは実に曖昧であるという本文の意図を理解し、医療人として他者を理解するということを論理的かつ具体的に表現できるかを問う。